

地域コミュニティ継続計画作成の流れ（例）

この計画作成する目的は、地域防災力を高めて、地域コミュニティを維持・活性化することにあります。

地域コミュニティ継続計画に記載される項目や作成の手順には、決まった型があるわけではありません。ここで示されるプロセスは考えられる1つの例にすぎませんので、自分の住む地区に合った進め方で作成に取り組んでください。

地域コミュニティ継続計画作成の流れ（例）

STEP1 事前準備

地域コミュニティ継続計画素案の作成主体、作成作業のリーダー、作成スケジュールなどを地区住民等で議論します。

また、必要に応じて、防災に関する有識者（大学関係者など）に協力を要請します。

STEP2 地区の災害リスクの把握

過去の災害経験

ハザードマップ（洪水・土砂・高潮）等の確認

防災まち歩き等

地区防災マップの作成

地区の特性を踏まえた上で、平常時・災害時の活動計画を立てる

STEP3 平常時・災害時の活動の検討

班名	平常時の役割	災害時の役割
総務班	全体調整、要配慮者の把握	全体調整、被害・避難状況の全体把握
情報班	情報の収集・共有・伝達	情報の収集・共有・伝達
救出・救護班	資機材調達・整備	負傷者等の救出・救護活動
給食・給水班	器具点検	水・食料等の配布
衛生班	仮設トイレの対策検討	防疫対策・し尿処理

※地区内での班編成を行うことが有用です。上記の表については例示です。

併せて、災害情報の入手方法、避難情報が発令されたときの行動・手順等や指定避難所での活動・運営についても整理しておくとい良いでしょう。

STEP4 検討した活動及び体制に基づく訓練の実施並びに見直し・改善

検討した体制等に基づき、実際に機能するか検証するための訓練を行いましょう。また、訓練の振り返りを行い、活動や体制の見直し・改善を行うことが大切です。

見直しの内容等を踏まえ、作成ガイドも参考にしながら計画の作成へ

STEP5 地域コミュニティ継続計画の作成